

宮城県知事

# 陳情書

令和5年7月

鹿原の未来を考える会

令和5年7月27日

## 陳情書

宮城県知事  
村井嘉浩殿

鹿原の未来を考える会

宮城県加美郡加美町字鹿原中野原6

代表 小山好典  
(別紙陳情者名簿のとおり)

私たちは、加美町八森山エリアに風力発電事業の建設予定(仮称事業計画名ウインドファーム八森山、最大20基の発電計画)の鹿原地区(3行政区)地域住民です。これまで本計画について、建設事業主((株)グリーンパワーインベストメント以下GPI)及び加美町との地域説明会で話し合いを重ねてきましたが、未だ納得できる十分な説明がなされていません。事業主は住民の理解を得ずして着々と計画を進めています。そこで{みやぎの森と緑県民条例}に基づき、陳情書をご提出いたします。

### 1 陳情に至った理由

私たちは、上記風力発電事業に対して、今年の3月に地域住民の立場として加美町鹿原地区で住民アンケートを弊会と他団体(加美町の風力発電を考えるチーム小野田)様の協力を得て3月中旬に取りました。

調査内容は賛成、反対、わからない、の三択になります。今回通常一軒で一回答ですが、本事業が20年のスパンで行われることから、次世代を含め3世代の意見、エビデンスを取ることにしました。結果全体で63%反対、特に若い世代では74%が反対でした。

町及び議会にも提出し、その住民の意見を反映させるべき弊会として、環境への多大な影響及び【みやぎ森と緑の県民条例】を鑑みて、町に対して町有林、及び保安林の貸出の反対と事業計画の凍結もとめました。

町としては法的に問題ないので推進しますとのことでした。

GPIからは伐採箇所面積はわからないとの回答で、計画面積わからなくても地域の住民には理解をお願いしたいとのことです。

尚弊会は再生エネルギーが地方経済の雇用創出を含め地域経済の活性化になることを理解しています。地球環境の二酸化炭素の保全として当然必要なエネルギーとして認識しています。決して反対との立ち位置ではありません。

ただ整合性に欠けた方法や不適正地での誘致であれば地域の薬にはならず、毒になることの懸念しています。私たちは地球の保全(二酸化炭素抑制)も大事ですが、それ以上に今生活している地域の自然環境の保護、保存も大事だと考えています。住民の懸念事項を下記にご示します。

※アンケート結果別紙添付

## 2 本事業の懸念事項は以下の通りです。

建設計画地は世界農業遺産登録の大崎耕土の水源地(舟形山山麓の鹿原青野川、大滝川、色麻町ほの川)であり、八森山付近の森林伐採(推測では50~100ヘクタール)による山(森林)の役割である水の保水力の低下による水田の水不足の影響が懸念されます。当然伐採だけでなく千年以上の表土もはぎとられることで土砂、腐葉土流出、の保全が破壊され地すべり地域でもあり土砂災害が今以上の確率で増えると考えられます。世界農業遺産の登録価値や地域の農業文化、農業システムに著しく影響出ると思います。

この地域は色麻町との境界地域であります。近年イノシシの農作物への被害が増えています。伐採による有害動物の生息域の拡散影響が懸念されます。どんぐり、くり、昆虫等の餌が伐採計画地域からなくなれば、人間と動物の住み分けが更に破壊され、イノシシ、熊等が里山に降りてくると考えられます。最近特に、熊との接近事故が全国に広がっていますが、熊は保護動物で簡単には駆除はできません。先日も加美町では町営の自然館というところで観光者が襲われ大きな怪我をされる方がいました。


今加美町で、すでに着工の風力発電(JRE宮城加美町ウインドファーム)がありますが、因果関係は証明できませんが事故地から直線で1kmくらいです。建設工事が影響しているいかもかもしれません。熊の人間への攻撃は昨今非常に残酷で危険です。人間が住み分けを守ることで山里地域の生活が守られることとなります。二酸化炭素を減らすエネルギー政策なのに二酸化炭素を吸収する森林伐採はその趣旨からは本末転倒ではないかと思えます。


**3【みやぎ森と緑の県民条例】**の現況に対応する、さらなる改定、補足のご提案いたします。船形山から栗駒山はブナを中心としたすばらしい宮城が誇れる森林です。この奥羽山脈の森林を保護することでふもとで行われる主幹産業の米を中心とした農業の持続的な営みが行われています。しかし昨今杉の植林から50~60年が経過し伐採が進んでいます。山の保水及び役割が弱くなりつつあります。そこに風力発電事業が重なって森林伐採が始まろうとしています。次世代に持続的な循環型の林業の維持には森林環境の保存と野生動物と人間の住み分けバランスを取ることが重要と思えます。新しい林業の形態を創ることで自然の営みのバランスを保ち持続可能な林業にしなければいけないと思えます。森林環境(二酸化炭素の吸収)の維持をつなげていくためには、さらなる森林強化が必要と思われれます。船形山麓の奥山に深根性のブナをはじめ、なら、こなら(どんぐり等)の植林の推進をすることで、急斜面の地すべり地帯の対策にもなります。さらに熊、イノシシ、鹿等と人間の住み分けをつくることにもなり、クマタカ等の希少猛禽類の飛来地の保護、生息域確保ができる思います。事業主調査では確認されていないとの報告ですが、タンチョウ、鶴、イヌワシ、大鷲と違いクマタカ、やオオタカ等の希少猛禽類は大きさがに鷲との違いはあまりなく、八森山だけでなく小野田、宮崎地区の水田にもたまに似た猛禽類普通に飛来しているようです。しかし彼らは決して私たちの生活には密接でなく意識して私たちが見ることは稀です。飛んでいるタカと鷲の区別はつかないのが普通の人の里山の生活です。


当該地域のGPIの{仮称 ウインドファーム・八森山}計画は県条例に地域住民の多くが不安を抱き反対の意思を表明しています、条例にはそぐわないものと考えます。加美町では私たちの鹿原八森山地域以外に宮崎地域に凡そ130基の計画もあり(伐採面積は500ヘクタール以上なると推測できます)

事業主が国に提出する環境影響評価書、及び準備書において是非村井知事に県条例の森林への懸念として意見書をご提出お願いしていただければと存じます。  
是非私たちの鹿原地域の森林伐採による様々な生活環境の悪化の防止にお力をかしていただき  
たいと思います

鹿原の未来を考える会

宮城県加美郡加美町字鹿原中村15  
小山達也 

宮城県加美郡加美町字鹿原前田19  
奥山光行 

宮城県加美郡加美町鹿原谷地袋9-8  
小山くみ 

鹿原地区民

風力発電建設の意識調査 結果表

令和5年3月

鹿原の未来を考える会

令和5年3月

鹿原地区民各位

鹿原の未来を考える会

代表 小山 好典

サポートスタッフ 小山 達也

奥山 光幸

協賛 加美の風力発電を考えるチーム小野田

## 鹿原地区住民への風力発電のアンケート調査について（お願い）

平素より本会の活動に格別のご理解、ご支援を賜り感謝申し上げます。

3年前の「汚染牧草」の天ヶ岡へのすき込み事業への反対署名時には皆様のご協力をいただきました。最終的に、決して満足できる町の対応ではありませんでしたが、全町からのすき込み搬入計画が、鹿原地区と小野田地区の一部畜産農家からの搬入に縮小されました。ひとえに、皆様方のお力があったからと改めて御礼申し上げます。

さて、現在、新聞やテレビ等マスコミでも大きく報道されている「地球温暖化」問題が、世界中にエネルギー変革を求めてきています。日本政府も様々なエネルギー関連の計画を策定し、再生可能エネルギー政策を強引に推進しています。

加美町においては、最大174基の風力発電を建設する計画が進められ、現在「合同会社JRE宮城加美」が漆沢ダム付近の尾根、ぶどう沢に10基を建設中です。

鹿原地区においても、色麻かっぱの湯、小栗山地区との町境の「八森山」を中心に東西7～8kmにわたり最大20基の風力発電を建設する計画（ウインドファーム八森山）が進められ、最終段階（環境影響調査準備書）に入っています。

建設されると、高さ140～190m（東北電力天ヶ岡鉄塔のおよそ2倍）の風車となり、川底地区まで最短1.1kmの距離となります。また、加美町は、事業を承認する方向ですが、色麻町は反対と明言しています。

この事業は将来の鹿原に関わる大きな問題ですので、次代を担う青少年の意見も聴く必要があると考え、世代別のアンケートといたしました。家族で、これからのエネルギー、鹿原の将来のことなども併せて話し合ってください。機会となれば幸いです。

ご多用中申し訳ありませんが、ご協力よろしく願いいたします。

令和5年4月吉日

鹿原地区民各位

鹿原の未来を考える会

代表 小山 好典

サポートスタッフ 小山 達也

奥山 光幸

協賛 加美の風力発電を考えるチーム小野田

## 鹿原地区住民への風力発電のアンケート調査結果について

桜の便りが聞かれる季節がやってまいりました。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素より本会の活動に格別のご理解、ご支援を賜り、御礼を申し上げます。

さて、「鹿原地区住民への風力発電のアンケート」につきましては、ご多用中にもかかわらずたくさんの皆様から回答をいただきました。誠にありがとうございました。

鹿原地区全世帯190戸のうち159戸から回答いただきました。その結果、回答率は83.6%と極めて高い関心度であることが分かりました。

集計結果については、別紙にまとめましたのでご覧下さい。

## 鹿原地区住民への風力発電のアンケート調査結果と考察

- ・調査結果 : 鹿原地区全世帯 190
- ・調査結果 : 鹿原地区世代別調査 (1) 小学生~高校生 (18才)  
(2) 19~60才  
(3) 60才~
- ・有効回答数 : 159
- ・有効回答率 : 83.6%
- ・調査期日 : 令和5年3月13日~3月20日

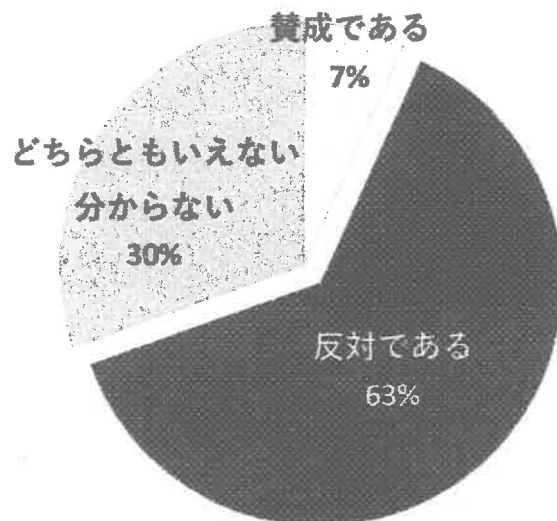
鹿原地区における風力発電建設について考えを伺います。

### 1 調査結果

#### (1) 全体

	人数	割合 (%)
賛成である	29	6.7%
反対である	271	62.9%
どちらとも いえない 分からない	131	30.4%
計	431	100%

#### 調査結果全体



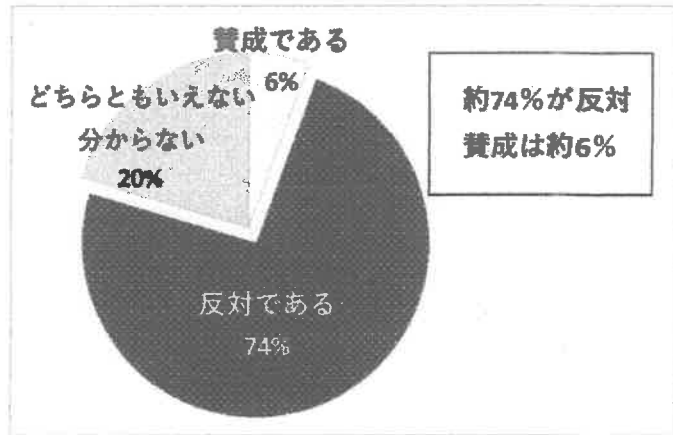
約63%が反対  
賛成は約7%



(2) 世代別

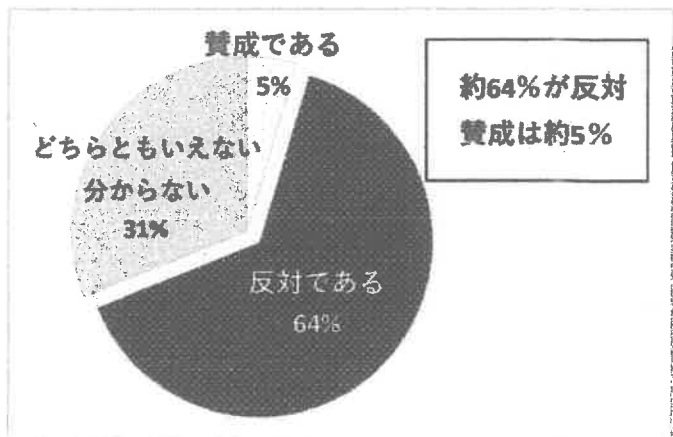
①小学生～高校生（18才）

	人数	割合 (%)
賛成である	3	5.6%
反対である	40	74.1%
どちらとも いえない 分からない	11	20.4%
計	54	100%



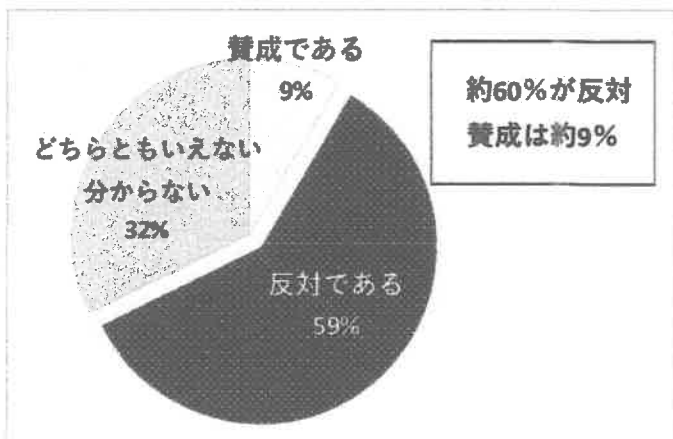
②19～60才

	人数	割合 (%)
賛成である	7	4.6%
反対である	97	64.2%
どちらとも いえない 分からない	47	31.1%
計	151	100%



③61才～

	人数	割合 (%)
賛成である	19	8.5%
反対である	132	59.2%
どちらとも いえない 分からない	72	32.3%
計	223	100%



## 資料編

風力発電等についての考え（原文のまま）

○賛成 ×反対 △どちらともいえない・分からない

### 小学生～高校生（18才）

- ×自然環境が壊れる。(2人)
- ×設立による弊害が心配。
- ×自然環境破壊絶対反対します（自然災害が必ず起きる）(16才)
- ×加美町は自然豊かで、食べ物、水がおいしいと言われているのになぜそれを壊そうとしているのかが分かりません。
- ×自然を破壊してまで風力発電が必要なのか。(小学生)
- ×無駄に環境破壊をしないで欲しい(12才)
- ×環境の変化により動物の生息域が変わってしまう。

### 19～60才

- 自然環境を考えれば、現在以降の世代に対して美しい地球を見せてあげたい。
  - ×景観も悪くなりますし、健康被害が心配でなりません。だから反対します。  
現在、電気料金が高くなっていますので、再生可能エネルギーに期待したいのですがでも健康被害が心配です。
  - ×低周波や騒音で健康に悪い。(2人) ×落雷被害
  - ×自然の山々 水源等今までのように自然でなくなってしまうから災害が必ず起きてくるでしょう。
  - ×健康に被害が出てくると思われる。
  - ×景観、森林保護、鳥獣害の観点より、そして何より町民の反対の意見に対し、町長の説明責任が果たされていないこと。
  - ×山頂に風車はいらないと思っています。また事業体である「JRE宮城加美」のやってきたことに信用がおけない。
  - ×住民に何の利益があるのか。町長の進め方がおかしい。町民の意見が反映されていない。
  - ×景観が悪くなる(2人)
  - ×風力発電のメリットが思い浮かばない。自然の中で生きている動物たち、緑豊かな鹿原地区が全て風力発電のために悪循環になってしまう。
  - ×加美町に174基も建設する計画があるとは知らなかったです。いずれ大災害が起き安心してくられなくなるでしょう。自然を壊すものは天災がおきます。
  - ×自然のままが一番いいです。他の方法を考えて頂きたいです。都会に暮らす人は人ごとも知れませんが、近くで暮らす人達は不安です。いくら安全ですといわれてもいやです。
  - ×威圧的すぎる建造物 民家に近すぎ恐怖を感じる。人体や動物、生物への影響が不安。事業撤退後の建造物の撤去処理の問題 不安
- △原発反対、火力反対、風力反対といったら電力会社は何で電気を作ったらいいのかな。  
△賛成、反対両方にメリットがあるため。  
△賛成でも反対でも町民へのメリットは？  
△電気 ガスなどの値上げもあるし、風力発電の悪い噂も聞こえてくるので。  
△情報が少なく、メリット、デメリットが分からない。(2人)  
△なぜ風力発電を急ぐ必要があるのか。他地域で起きているメリット デメリットを時間をかけて精査してから決定しても遅くはないのではないか。

## 61才～

- 地域発展のために良し。ただし健康被害は心配。
- 原発に依存しない再生可能エネルギー確保は重要な課題です。鹿原地区への建設については住民の合意が大前提で賛成します。景観の保全、災害防止、健康被害の配慮、地域振興等の地域住民への周知と了解を得ることが条件です。
- 大いに賛成です。原発反対のため。
- 電気代が少しでも安くなれば。

×前もって何の連絡一切なし。勝手すぎる。

×昨年9月の豪雨で多方面での土砂崩壊等、山林伐採の影響大である。反対!

×地滑り、汚水

×自然環境に影響がおこる。(2)

×低周波、地滑り、各沢への土砂流失

×町有化、環境を守るため。自然災害心配。

×部落に何のメリットもない。施工者の信用がない。

何の心配や悪影響がなければ町の平場でつくれ。

・(反対の理由)

①故郷の山が壊される。

②景観の阻害。

③林地開発による森林伐採、造成工事による防災対策の重大な影響。

④高さ150以上の風力発電建設により野生動物への被害が発生する。

⑤住宅地から2km圏内なので人的被害が起こす。

⑥風車からでる騒音、低周波被害による耳鳴り、頭痛、睡眠障害

×景観が壊れる。

×自然破壊、健康などの影響が心配です。(4人)

×心臓に障害のある人、耳に障害のある人とかいろいろな病気を持っている方にいろいろな問題が出てくる可能性がある。

×体に悪い影響があるようです。

×なぜ加美町は事業を承認するのでしょうか。

×家の近くに建てることには反対である。これからの時代に風力発電が必要なことは十分分かってはいるが、なぜ八森山にするか分からない。もっと山奥に建てるべきではないのか。

×森林が多少なりとも無くなって、その影響が心配です。

×山の尾根に作るのは反対。地産地消、地域ごとの風力(小さい)は良いと思う。

都会の人のための電気を環境を壊してまで作る必要はないと思う。

×健康被害が心配

×安全性を含めて住民への説明が不十分だと思われます。

×住民がよく理解されない中で工事等が進められることに不信感があります。

×原発増やして使われるよりは、風力でも良いのかと思うが、のちのち山からの水害や動物等のことを思うと反対。

×風力発電を設置することにより色々な災害が出ることに反対です。(土砂流 出低周波音障害 獣が人里に下りてくるなど)住民の意見を十分に聴いて対処して欲しいです。

×人体に電波が影響すると聞いているが、これからの未来の子どもたちの生活にどのように影響するのか心配。

×自然(山)に風力発電を建設することは、自然破壊ではないでしょうか。自然そのものが町の財産であり、自然と共存できる町づくりをすべきではないでしょうか。

×健康被害がとても心配。

×原発をなくすためにも再生可能エネルギーとしての風力発電は不可欠と考えるが、風力発電機設置の適地は、日本全体を見渡して考えるべきもの。

①その適地が深く考慮されずに山地となってしまうことに疑問。②山が人の生活にもたらす恵みだけでなく、昔から山は神様の住む場だったということなど全く考慮外となっている。生産性の観点だけ。③山以外には適地はないのか。初めから都会の方が除外されているのはなぜ。④健康被害の心配 山に風力塔がポンポン建つのは醜悪そのもの。山が破壊されることは将来に禍根を残す。

×風車による騒音、台風時等家屋への被害、安眠妨害によるストレス

強風時、東北電力天ヶ岡鉄塔の配線が「ヒューヒュー」鳴る音だけでも大変なのに富者ならずごい音になる。

鹿原地区で反対の署名運動をして下さい。必ず署名します。

×やはり環境と健康の心配があります。その影響は未知数であり不安です。動物たちがストレスで予想できない動きをするかも知れません。海上の場合とは大きく違うのではないかと思います。豊かな自然にあふれた鹿原をいつまでもと考えています。

×町有林に設置する利点、説明不足。なぜ推進に踏み切ったのか住民説明と他地域で風力発電によりどのような利点があったか。生態系への影響。万が一影響があった時の対策、説明が必要です。

△反対、反対だけでなく現実に風車のある場所に行くとか、来てもらってどんな現実、障害があるのか聞いた方が良いと思う。

△数々訳あり難しく分からないです。

△世界的に普及している風力発電です。メリット、デメリット両方あると思います。無関心ではありませんが、現時点ではどちらともいえません。

△情報が少ないので判断できない。建設による災害や健康被害の補償を明確にすべき。

△山が切り取られ自然災害が起こる可能性がある。電力不足もかなり不安（長期的に）現在のウクライナ問題のような想定外な事も考えればどちらが良いか分からない。

△居住地に近いということがどう影響するのか。農業など産業への影響。情報不足の単なる杞憂かもしれないが、「山が壊されている」というが、その山は近年どのように活用されてきたのか・・・？

△今後人口の減少や少子高齢化が進む中、加美町の財政状況も悪化するものと予測されます。風力発電機の設置により地元雇用や税収入が増えれば、住民サービスが多少良くなるのではないのでしょうか。（私の期待）税収入の規模も分かりませんが。一方、ニュースレターにも記載されているとおおりデメリットも多数あります。後々、鹿原の住民に害を及ぼさないような対応や取り決めをして欲しい。

△住宅地に隣接したり悪影響のない条件なら自然エネルギーは基本的に前向きに検討する価値はある。

△新聞等で報道されている内容以外の情報が不足している。反対している方々の配布物は目にするものの、推進を主張している方々の内容は全くふれる機会がない。町のスタンスも不明確であり多くの町民は判断材料が少ないと思う。

△設置した所によりどんな影響があるか実感しなければ分からない。

△電力供給が心配。

△自然災害、土砂崩れ、体への影響が心配だが、地球温暖化で将来のエネルギーが必要になることを考えるとどちらも合否ができません。（2人）

△賛成とか反対とか計画が進められている中で現実感がないのが今の心境です。建設される風車の大きさも高さも想像以上に大きい風車なので、不具合や事故など心配です。

△今更賛成、反対をいっている場合じゃない。風力が悪いか、良いかは何ともいえない。加美町が良ければ、色麻町民が反対するのは何を思っているのか分からない。できれば早く道路を直して欲しい。アンケート調査が遅すぎる。

△風力発電導入により地域が得ることが生まれる要素もあるのではないかとも思える。

雇用先とはならないか、観光の一助にはならないか。建設にあたり土地、山としての保水力低下に対して不安が残る。メリット デメリットを更に考えたい。

## 「再生可能エネルギー」について

- 自然の景観を阻害することなく、地域密着型建設（観光地域）にするには、海岸通りの平地、高台または、洋上風力発電が適地と思います。建設費用も安価に済む。運搬費が少なくて済む。  
国の再生可能エネルギーの普及として、住宅個別に電力消費量に合わせた風力発電機ができないか（海岸通り 山間地域）。太陽光発電の設置も同様にできないか。（70代）
- 今後必ず化石燃料に頼らないエネルギーは必要になるが、設置の条件（場所 景観など）を考慮することが大切だと思う。どのようなことでも住民の理解を求める姿勢が必要である。
- 葉菜ゴルフ場がメガソーラになってしまうのが残念。（70代）
- 原発の再稼働、増設には絶対反対。再生可能エネルギーは風力を含めて大きく推進すべきである。（70代）
- 火力発電では、木炭を燃やすことでCO2が発生し、温暖化の原因とされています。原発の場合は放射性廃棄物を処理しなければならない。環境面を優先すれば再生可能エネルギーなんでしょうけど、原発や火力のような発電量を確保できるのでしょうか。電力は重要なインフラなので一部の業者のもうけにはしたくない。
- 太陽光は撤去が可能であるが、風力の土台は無理だ。巨大な地下に埋没されているため。
- 将来的に再生可能エネルギーを推進する方向性は理解できる。新たなものへの慎重論は理解できるが、未来を考えた場合、限りある現在のエネルギー生産は見直すべきではないか。
- これらは、不安定な発電システムなため火力等で補っているのが現状。早く原発を再稼働すべき。太陽光、風力は中国資本における割合が大きいのでそれが心配。
- 太陽光が一番良いと思う。（2人）
- なぜ美しい自然豊かな加美町に風力発電なのか。
- 風力発電のためにどれだけの税金を投入するのか。そんなことをするより各家庭（世帯）でまかなえる太陽光発電の助成金、もしくは無料にして自分たちで補える制度をつくって下さい（40代）
- 太陽光発電の再生可能エネルギーが望ましい。風力発電は適地として認められるところだけにすべきである。（70代）
- オール電化の生活を見直し、便利さを追い求めるのを反省しましょう。後生に渡そう美しい自然を！（70代）
- 電気代が安くなれば良い。
- 再生可能エネルギーに関しては賛成だが専門家の話を聞いたりしてみたい。
- 再生可能エネルギーは否定しないが、メインエネルギーとしては安定供給電力の質の不安があるため否定する。ただし、鹿原地区の発展を前提として、食料とエネルギーの地産地消の手段としての小型再生可能発電所なら検討の余地があると思う。（50代）
- 再生可能エネルギーは大切だと思っています。まずは住民に説明していただきたい。